

支援戦闘機 F-2 (空幕)



日米の先進の技術を結集して生まれました。

F-2は、米国のF-16を、日本の運用の考え方や地理的な特性に合わせ、日米の優れた技術を結集し日米共同で改造開発した戦闘機です。昭和63年にFS-Xとして開発に着手し、平成7年に初飛行、12年度に開発は完了しました。F-16からの主な改造点は、旋回性能の向上のため主翼面積を増やし、軽量化のため先進材料や先進構造を取り入れたこと。また、離陸性を高めるためエンジンを推力方向型に変え、さらに最新レーダーなど、先進の電子機器を採用しています。

分類	戦闘機
乗員	1～2 (教育訓練用) 人
	全幅 11.1m
	全長 15.5m
	前高 5.0m
(エンジン)	
推力	13.4t (地上静止時)
型式	ターボファン・エンジン
最大全備重量	約22t
(性能)	
最大速度	マッハ約2.0
(武装)	20mm 機関砲、空対艦ミサイル、 空対空赤外線ミサイル 空対空レーダーミサイル

製作	： 三菱重工業株式会社 石川島播磨重工業株式会社
価格	： 5機 529億円 (平成18年度発注)